

科目名	楽器研究 A, B	形態	講義	開講期	春・秋
担当教員	高橋 裕	単位	2	年次	2

＝授業科目の目標＝

一般的にオーケストラで使用される楽器を中心にその歴史、奏法、記譜法について理解し、楽器についての基礎的な知識を得る。またCD等の音源により、実際の音楽においてそれらの楽器がどのように使われているかを知り、編曲等に活かす。

併せて、移調楽器について理解し、スコアリーディング、オーケストレーションのための基礎的な能力を身につけることを目標とする。この科目は教育の現場において、音楽の授業をする上でも、また吹奏楽等の指導を行う上でも有益である。また作曲等の創作活動において必要不可欠な知識であることは言うまでもない。

＝履修の条件と学習の方法＝

教科書に記述されている内容のみを丸暗記するのではなく、講義の中でお話しする、それぞれの楽器にまつわる色々なエピソードなどを積極的にメモして下さい。将来、音楽の授業をするとき必ず役に立ちます。

またCD等を通して各楽器の音質の特徴を記憶して下さい。尚、遅刻、早退、中途退席3回で欠席1回と見なします。また、授業時間の半分の時間（45分）を超過しての遅刻、早退、途中退席は欠席扱いとします。

＝授業内容＝

- 1回 ガイダンス：シラバス（講義の目標や内容）の確認。
- 2回 音楽と楽器の関わりについての考察。ピアノの特性、他の楽器との比較。
- 3回 チェンバロ、オルガンについて。
- 4回 楽器の分類、および移調楽器について。
- 5回 管楽器の基本原理及び木管楽器（フルート属）について。
- 6回 木管楽器つづき（オーボエ属、クラリネット属について。）
- 7回 木管楽器つづき（ファゴット属、サクリルン属について。）
- 8回 金管楽器の種類、構造、特質および、トランペット属について。
- 9回 金管楽器つづき（トロンボーン、ホルン、チューバ、ユーフォニアムについて）。
- 10回 弦の振動の原理及びヴァイオリンについて。
- 11回 ヴァイオリン属（ヴィオラ、チェロ、コントラバス）について。
- 12回 ハープについて。
- 13回 他の撥弦楽器（ギター、マンドリン）及び民族的な楽器について。
- 14回 打楽器の種類（分類）とその特徴について。ティンパニを中心に。
- 15回 楽器研究のまとめ

＝成績評価の方法と評価の基準＝

講義中に取り上げた楽器の歴史、特質、音域、奏法、音楽作品等、様々な角度から記述する試験を実施する。授業中に学んだことが的確に記述されているか、またさまざまな資料をもとに、その楽器について調べ、研究したかを評価の観点とする。あわせてCDを聴いて、その音楽に使用されている楽器名を答える試験も実施する。それらの成績に出席状況および受講態度を加味し、評価する。

＝テキスト（必携）＝

書籍名：楽器学入門
 著者名：金光威和雄
 出版社：音楽之友社